

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月03日

計画の名称	時津中央地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	時津町											
計画の目標	大目標：安全・安心・快適で住み続けたい「まち」の再生。 目標1：中心市街地に隣接した利便性の高いエリアに居住する人口を増やす。 目標2：安全に安心して暮らせる住みよい住環境を創出し、定住希望率を高める。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,141	A	2,141	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	R1末	R3末
1	居住する人口の増加 整備効果により安全性、快適性が向上し、居住地としての魅力が向上する事で区域内人口が増加すると考えられるため、効果を測る指標として区域内の人口を設定する。	215人	280人	400人
2	生活環境の向上による定住希望率の向上 安心・安全で快適な住みよい住環境のもとでは生活環境に対する満足度向上から定住者の増加が期待でき「まち」の再生に繋がる。整備効果は定住者への定住希望アンケート調査によって測る。	79%	%	85%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 時津町にて評価を行った。	事後評価の実施時期 令和5年2月
	公表の方法 ホームページ及び町窓口にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	都市基盤の整備により、安全性、快適性が向上したことで、居住地としての魅力が増進した。その結果、目標を上回って地区内人口が増加した。 定住希望率は従前値を上回ったものの、目標値には届かなかった。しかしながら、課題であった町全体の定住希望率を下回る状況から、町全体の定住希望率と同等に向上したので、目標達成に値すると考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
まちの活力を維持するため、立地適正化計画で居住誘導区域に位置付けられた本地区への居住誘導を促進する施策を継続して実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	人口	
	最終目標値	400人
	最終実績値	466人
2	定住希望率	
	最終目標値	85%
	最終実績値	81%

地区内で土地区画整理事業が施行中であり、未供用の道路等があることが影響したと思われる。